

ごあいさつ

理事長

しんや たかのり

新屋 貴憲



日頃より、当組合にお寄せ頂きますご支援・ご協力に対し、役職員を代表して心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、新たな秩序に基づく社会が歩み始めました。これまでの規制や制限などが解除され、挽回や再興に向けた経済活動がスタートし、多くの企業はじめ個人の活動に勢いが現れました。この勢いはインバウンド効果と相乗し、観光・飲食・交通産業などが先導して経済の回復基調を作り、地域に活気が戻ってきました。しかしながら、企業にとっては日米の金利差による急激な円安や輸入コスト高によるエネルギー価格・原材料価格の高騰はじめ、人件費増や人手不足などの山積するリスクは再出発を期す際の多様な足枷となり、また、生活する人々には生活必需品や電気・ガス代等の相次ぐ値上げ等、厳しい日常が直面し、回復の兆しを実感できるにはまだ遠い道のりとなっています。

当組合は、このような状況を冷静に捉え、地域で頑張る多くの方々の応援団として、企業が抱える一つひとつの課題・問題に真摯に取り組む“伴走型”に徹すると共に、マネープランの再構築や資産形成をはじめとする組合員皆さまへの生涯支援に、職員自らが自覚と責任をもって懸命に取り組んで参りました。

令和6年度も引き続き、協同組織金融機関としての責任と使命の基に、この郷土長崎を舞台に活躍する組合員皆さまの良きパートナー・バディとして、共助の精神をもって丁寧に力強く事業を展開していく所存でございます。

ここに、令和6年3月期の経営概況を「りょうしんの現況2024」として取りまとめましたのでご高覧のうえ、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

金融業界は、日銀の金融緩和政策の修正により“金利がある”時代へと舵をきり、新たな時代への展開となりました。いかなる時代となっても、次世代へ繋ぐ“長崎の力”を育み、日々を生き活きと重ねられるよう“まごころバンク りょうしん”の事業を、力強く展開していかなければと覚悟しております。それ故に、コンプライアンスを遵守し、より高度なガバナンスが重要であり、経営の責任はより重いものとなりますが、協同組織金融機関としてのプライドをもって経営に果敢に挑戦してまいります。

何卒、力強いご支援とご理解を頂戴し、これからも末永いご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げ、ごあいさつと致します。

令和6年7月

役員紹介

(令和6年7月1日現在)

常勤理事・常勤監事



常勤理事 永石 浩 理事長 新屋 貴憲 常務理事 堀 清隆 常勤監事 吉原富士男

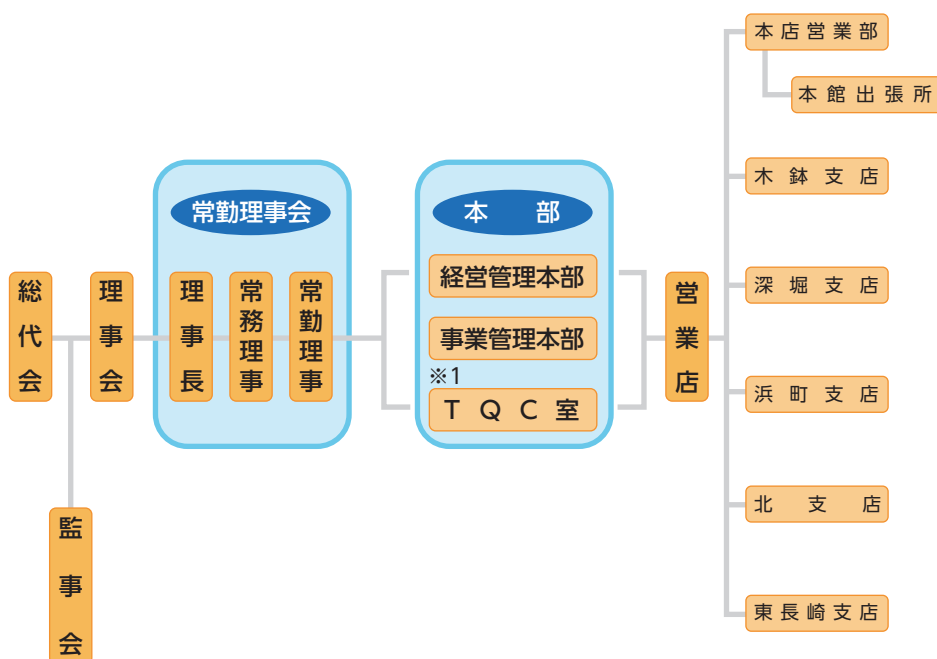
理事・監事

理 事 寺脇 克典(※) 理 事 中山哲二郎(※) 理 事 山崎 龍二(※)
 理 事 永石 正司(※) 理 事 告 幸司(※) 理 事 関本 士朗(※)
 監 事 藤瀬ひとみ 監 事 藤岡 哲哉

●当組合は、職員出身者以外の理事(※印)の経営参画により、ガバナンスの向上や組合員の意見の多面的な反映に努めております。

組織図

(令和6年7月1日現在)



※1 トータルクオリティーコントロール室